

# 箱根組ニュース

第325号 2020年新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

## 武蔵五日市近く、城山の絶景を楽しむ、荷田子河原で芋煮&焚火パーティーで盛り上がる。

12月15日(日)、JR新宿駅6時46分発のホリデー快速あきがわ1号武蔵五日市行きに乗車。

乗り換えもなく快適に進んだ電車は武蔵五日市駅に7時55分に到着。

降り立ったのは、川名夫妻(舞茸)、神山(コンニャク)、有倉(焼き豆腐)、宗像夫人(里芋)、太田、星野「幸」、岩岳(しめじ)、和田(ごぼう)、奥村(うどん)、谷田(麺つゆ)、星野(長ネギ)、佐藤(牛肉)、星野「絵」、戸丸(焼き芋用サツマイモ)の15名。(カッコ内は芋煮の材料分担です。他に焚火の薪も持ち寄りました。)

駅前から8時22分発の上養沢行きバスに乗り込む。バス停に並んだ列を見てバス会社の担当者が臨時のバスを手配したようで2〜3台のバスが出ました。我々が乗った小さなバスは我々15名ともう1名でほぼ貸し切り状態。

8時33分、十里木バス停着。バス停横が城山への登山口だがすぐ近くの十里木無料駐車場のトイレ前で自己紹介とストレッチをする。

9時、駐車場を出発。9時5分、バス停横の登山口から登ってゆく。入り口の標識には城山・白杵山と書いてある。ここは我々がよく行く戸倉三山につながるルートなのだ。

まず目の前に現れたのは緑が美しい竹林だ。いつ見ても竹林の美しさには目を奪われる。なかなかの手ごたえの道が続く。竹林を過ぎるとヒノキ林そして自然林になる。小さな山だがなかなかの山道だ。汗をかきながら、休憩しながら進んでゆく。

9時35分、戸倉三山との分岐に着く。右に行けば白杵山方面、左が城山だ。小休止。少ししか歩いていないが早足行動食が出回る、これが楽しみなメンバー。9時45分、出発。送電線の鉄塔の下、スキの中を進む。

9時49分、二つ目の鉄塔をくぐる。ここもスキが一杯だ。鉄塔の下はスキの独壇場だ。ヒノキ林と自然林の混じった林で落ち葉が沢山積もっていて気持ちがいい。少し滑りやすい道を慎重に登ってゆく。枯葉の下の石や木の根にも



要注意だ。右側に公衆トイレが見えると、正面にこんもりとした山頂が見えてきた。

10時12分、戸倉城址の城山(434.1m)到着。小さな山なのに目の前に見事な景色が広がる。先ほどバスで通ってきたルートからつながらる武蔵五日市の街並み、埼玉から東京方面が一望だ。スカイツリーもはっきりと確認できた。いつまでも見ていたい景色だ。

10時30分、下山開始。同じ道を下ってゆく。なかなか手ごたえのある上りだったのでも慎重に降りて行く。

10時53分、尾根の分岐点を右に下ってゆく。

11時21分、十里木バス停着。信号を渡って小休止。

11時30分、出発。バス通りを少し進むと右側に旧道がありこれを入ってゆく。

40円切手	82円切手	切手残数
131枚	121枚	

現在の収支	
繰越入金	39892円
	993円
支出	
印刷費	1000円
コピー代	400円
現在高	39485円

少し行くと右側に吊り橋の様な橋が見える。「秋川溪谷瀬音の湯400m」の看板に沿って右に下りる。川に向かつて少し降りると橋になる。吊り橋のように見える橋だが吊っている様子は無い、どういう構造なのだろう。

左右の景色が見事だ。右側は白く大きな岩の間を曲がりながら白い泡を砕き深い淵に落ちて流れる美しく荒々しい川。対照的に左側は全く違う静かな河原だ。

11時40分、橋を渡ると山道になり、すぐに瀬音の湯の施設が見えてくる。左側の建物はレストランの様だ、良い匂いがしてくる。屋台のような出店がいくつか並んでいて焼き芋も売っていたが、我々はこれから河原で焼き芋だ。大きな温泉施設らしい建物を通る。駐車場にはかなりたくさん車の車が止まっている。皆さん温泉を楽しみに来ているのだろう。

広い車道を進んでゆく。左にカーブする車道の坂道を登

2020年の幕開けは1月19日(日)猿橋近くの御前山(730m)から富士を仰ぎます。

レギュラーコース 歩行3時間40分

中央本線猿橋駅からアプローチし、神楽山經由御前山、下山は馬立山經由で富士急田野倉駅に下ります。

○持ち物 軽アイゼン、スパッツ、お弁当、飲料水、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 1月17日(金)までに

集合 1月19日(日) 京王線新宿駅  
6:57発 特急高尾山口行き  
(前から3両目車内)  
途中駅発  
明大前7:03 調布7:12 府中7:18  
分倍河原7:20 聖蹟桜ヶ丘7:23  
高幡不動7:26 北野7:33  
高尾7:40着(中央本線乗り換え)  
8:02発 甲府行き  
猿橋8:41着  
交通費 新宿～猿橋 961円(片道)

●お申し込み・お問い合わせ  
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸  
戸丸携帯 090-4541-7066  
携帯メール: satorutomaru@gmail.com  
メール: tomarusatoru@hotmail.com  
箱根組ホームページ  
https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

ってゆく。少し右に曲がった道はその先で突き当り、これを左折。下見の時に右側にあつた50年やつているといってお焼き屋さんに寄つてみたが、本日は予約のみということであきらめる。小豆のお焼きのみだがとても美味しかった。

橋を渡るとすぐに懐かしい荷田子のトイレ。馬頭刈山の帰りや、いつも行く戸倉三山の帰りにはとてもありがたいオアシス的なトイレだ。

12時、荷田子のトイレで休憩。休憩後トイレを右に巻くように秋川の河原に下りて行く。

12時20分、荷田子河原に到着。先客の若者数人のグループがいたが我々はその奥に陣取る。

早速パーティーの準備。芋煮班は宗像夫人を中心に進める。焚火焼き芋班は戸丸、熱燗の準備は川名という陣容だ。

レジャーシートを敷いて持ち寄りの料理を並べる。焼き芋は新聞紙に包んで川の水で濡らし、もう一度アルミホイールで包んで人数分の15個つくる。ステンレスの焚火台にその芋を並べてそのうえでたき火を始める。芋煮班は順調に進んでいるようだ。(麵つゆが足りなくて隣の若者グループに塩と醤油を借りに行つたそうだが、お札にイチゴを届けたようだ。)

さて焚火は快調で芋煮完成と同時に焼き芋も仕上がつた。(今回は焼き芋の完成度を上げようと一度火を弱めて芋をひっくり返して再度焚火を強めた。)と同時に川名さんの熱燗も仕上がり乾杯!と宴会は絶好調だ。

ということではデザートのアナツキ芋の焼き芋から食べ始める。しつとりと甘くホカホカだ。芋煮はうどんも投入し芋煮うどんとなつた、牛肉のうまさ引き立つてとても美味しくお酒も進んだ。

たき火を囲んでいただくお酒は他には代えられない旨さだ。

宴もたけなわ、佐藤さん先導のフォークダンスが焚火の横で始まつた。オクラ、ホマミクサー、マイムマイム、ジエンカ、踊ると酔いが回る。

最後はしっかりと焚き火の処理をして、きれいにかたづけして終了。

3時30分河原出発。荷田子バス停、3時55分発のバスで武蔵五日市駅に向かう。

武蔵五日市駅前からバスで帰る神山、奥村両名と別れ、JRで帰路に就く。

新宿駅西口の店に向かつたのは川名夫妻、有倉、佐藤、戸丸の5名。美味しいビールと大きなコロッケもいただいて楽しい一日を締めくくる。

### ○槍ヶ岳5泊6日スケジュール案 表銀座縦走コース

●一日目 7月27日(月)

新宿発(バスかJRで)穂高駅  
バスかタクシーで中房温泉泊

●二日目 7月28日(火)

中房温泉→燕岳→燕山荘泊  
(歩行4時間55分)

●三日目 7月29日(水)

燕山荘→大下りの頭→切通し岩  
→大天井岳→大天井ヒュッテ泊  
(歩行4時間40分)

●四日目 7月30日(木)

大天井ヒュッテ→西岳→水俣乗  
越→ヒュッテ大槍→槍ヶ岳山荘  
泊(槍ヶ岳往復は翌朝?)  
(歩行6時間50分)

●五日目 7月31日(金)

槍ヶ岳山荘→大曲→槍沢ロッジ  
→横尾山荘→徳沢ロッジ泊  
(歩行6時間)

●六日目 8月1日(土)

徳沢ロッジ→明神→上高地  
(歩行2時間)

上高地→(バス)新宿着

◎費用約7万円

(宿泊費5万円・交通費2万円)

